

デーリー東北
2019年(令和元年)11月19日(火曜日)(15)

先輩の経験 進路の参考に

工大二高で「大学生とカタル！」

青森県総合社会教育センター主催のワークショップ「大学生とカタル〜キャリアサポート形成事業」が16日、八戸工大二高の体育館で開かれ、同校の1年生約200人が、県内の大学生の体験談を聞き、将来の進路の参考などにした。
(稲村安莉)



講師の大学生の話に熱心に聞く高校生

進学や学生生活の話に耳傾け

中高校生が、自分の夢を実現しようとする意欲や主体性を引き出すのが目的。毎年、県内各地の中学校、高校で開催している。

この日は八戸工業大や弘前大、青森公立大などの学生53人が、ボランティアで講師やサポートを務めた。生徒は話を聞きたい学生の元へ集まり、大学進学の内容や、高校時代に打ち込んだこと、今の生活などについて聞いた。

講師を務めた弘前大2年の山本颯太さん(20)は、高校時代にハンドボール部でスランプに陥った時の経験談を披露。「部活が全てではなく、自分には他にも頑張っていることがあると認め、努力を諦めなかったから最後はチームに貢献できた」と話し、自分を好きになることの大切さを訴えた。

生徒は熱心にメモを取りながら参考にしていた。